

## 市の魅力的な景観資源を守っていきましょう

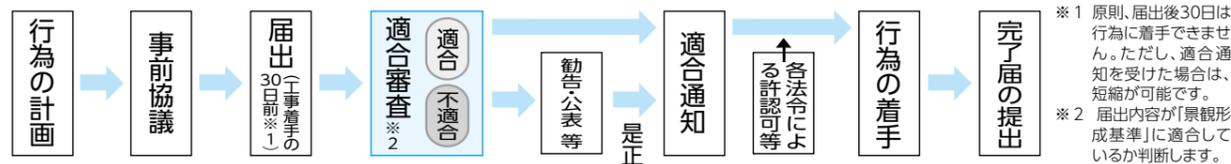
6月1日は「景観の日」と定められています。

市内には、両子山・文珠山を中心とした特異な地形、六郷満山文化や神仏習合等の独特な歴史文化、世界農業遺産に認定された農林水産循環、国東半島県立自然公園に指定されている美しい海岸線等、歴史や自然の貴重な景観資源があります。この景観資源を後世に引き継ぎ、良好な景観づくりに取り組むため策定した**国東市景観条例・国東市景観計画**が施行されています。

市全域を「景観計画区域」とし、一定規模以上の建築物や工作物の建設、開発行為などを行う場合には市への届け出が必要な場合がありますので、詳細については下記までお問い合わせください。



### 届出手続きの流れ



【問合せ先】 まちづくり推進課 まちデザイン係 ☎0978-72-5186

## 国東を元気にする人 62

### 戦一さん

25歳の時にしいたけ農家を継ぎました。一番多い時で、しいたけの種駒を約20万個打っていました。今は年を取ってきたので、10万個ぐらいです。良いしいたけは、常緑樹に囲まれ、時々日が当たるほど場に生えます。

長年しいたけを栽培してきましたが、品評会で農林水産大臣賞を受賞した時は、「この道で認められるようになった」と妻と喜んだものです。今回の受章も、家族の支えがあっこそ。私は81歳、妻は77歳ですが、まだまだ二人とも元気ですし、これからも体力が続く限りやっていきたいです。

### 妻・イツ子さん

最初は「やおねえ」と思いましたが、しいたけのおかげで生活ができたし、旅行に行ったりもできました。振り返れば、しいたけ栽培を頑張ってきて良かったです。やっぱり、お父さん(夫)の作るしいたけが一番だと思いますよ。



農林業の実績が認められ  
春の褒章で黄綬褒章を受章

鹿島 戦一さん (国東町小原)

## お誕生おめでとう (敬称略) ( )内は保護者の名前/4月14日~5月15日までの届出分

### 4月

- 3日 国東町鶴川 田邊 奏衣 (隆二・智美) 27日 安岐町下原 大久保 百桜 (拓也・けいこ)
- 16日 国東町鶴川 原田 あかり (将平・尚子) 28日 国東町富来浦 工藤 心桜 (好功・奈々)
- 22日 国東町田深 樋田 寛 (幸男・真由実)

### 5月

- 23日 国東町岩屋 高橋 快唯李 (慶典・舞) 8日 国見町岐部 前後 龍希 (健・未来)

## お悔やみ申し上げます (敬称略) 4月14日~5月15日までの届出分

### 4月

- 13日 安岐町下山口 岡田 清男 (82) 2日 国東町鶴川 中島 初音 (88)
- 15日 国見町野田 中川 ミドリ (92) 4日 武蔵町麻田 末廣 律雄 (92)
- 国東町富来浦 小田 さみ (70) 安岐町朝来 植田 和子 (85)
- 17日 国見町中 池田 照夫 (92) 5日 国見町向田 重光 鉄子 (91)
- 19日 国見町野田 石井 良枝 (85) 国東町東堅来 末綱 テル子 (87)
- 23日 武蔵町糸原 中井 教雄 (80) 国東町重藤 永野 忠徳 (83)
- 24日 国見町櫛海 荒巻 タツ (97) 7日 国東町北江 一丸 敏子 (84)
- 26日 国東町原 神田 次子 (82) 国東町治郎丸 立花 正美 (92)
- 27日 国東町中田 萱部 千雪 (91) 10日 国東町小原 加藤 未ぎく (97)
- 28日 国東町鶴川 原田 ヨソノ (94) 12日 武蔵町古市 相部 幸子 (78)
- 国東町治郎丸 吉丸 博子 (92) 安岐町掛樋 立花 サエ子 (80)
- 29日 国見町岐部 山際 信男 (85) 13日 国見町竹田津 井上 スミコ (94)
- 30日 国見町大熊毛 朝山 高男 (92) 国見町向田 猪俣 太志 (85)
- 国東町富来浦 堀 シズカ (91)

### 5月

- 1日 国東町富来浦 清國 好美 (87) 14日 国見町伊美 近松 キミエ (88)
- 国東町治郎丸 館 ヨシ子 (88)

※「お誕生おめでとう」「お悔やみ申し上げます」のコーナーについては、掲載希望の申し出のあった方を掲載しています。

ひとのうごき 人口 27,445 (-70)人 男 13,156 (-25)人 女 14,289 (-45)人 世帯数 13,151 (-6)世帯  
 主な異動理由 転入121人 転出160人 出生8人 死亡39人 ( )内は前月比 4月30日現在

### 編集後記

今回の特集は、新型コロナウイルスに立ち向かい、地域のために奮闘する団体取材しました。関係者が一つになって、熱い思いを抱いて行動を起こす姿に勇気をいただきました。私も市報担当者として、イベント中止等で取材先が限られる中、何ができるのかを考えたいと思います(矢野)

### 今月号の表紙



### ~田んぼから元気と笑顔を発信~

5月14日、安岐町明治の田んぼで諸富康弘さんと岩切千佳さんが七島蘭の植え付けを行っていました。お二人は毎年「七島蘭植え付け体験イベント」を開催していますが、今年は新型コロナウイルスの影響でイベント中止に。代わりに、楽しく元気に植え付ける様子をインターネット上で発信しています。岩切さんは「画面越しで、イベント気分を味わってもらえれば嬉しいです」と笑顔で話していました。